

現代日本学社会分析研究演習 I / 現代日本学演習 III 「現代日本における社会問題の分析」

第1講 文献検索とデータベース利用

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 先行研究の探索

1 書誌情報について

文献を特定するのに必要な情報を「書誌情報」(bibliographical information) という：

- 書籍の場合、著者名 / 出版年 / 表題 / 出版社
- 雑誌の場合、著者名 / 出版年 / 論文表題 / 雑誌名 / 巻,号 / 掲載ページ (通常は雑誌名だけで特定できるので出版社は不要であるが、CiNii Books などでたしかめる)

論文でこれをどのように表記するかは、自分の分野の代表的な雑誌等のルールを確認しておくこと。

社会学の場合：日本社会学会『社会学評論スタイルガイド』(第3版) 第4章 <<https://jss-sociology.org/bulletin/guide/document/>>

2 先行研究を探すということ

2.1 探す対象

- 論文・書籍 (研究成果をまとめた文章)
- 資料・データ (研究の対象となるもの)
- 研究者・研究機関
- 研究プロジェクト (研究資金の流れ)
- 雑誌・データベース

2.2 探しかた

- 人に聞く
- 入門書・概説書・展望論文、一般向け雑誌、ウェブサイトなど
- 芋づる式
- 白書、データブック
- 各種データベース

一度の探索で網羅的に情報が集められるわけではないので、ふだんからアンテナを立てておくことが大切である。

3 論文・書籍のデータベース

研究成果は論文や書籍として発表される。

- 国立国会図書館サーチ <<http://iss.ndl.go.jp>>
- CiNii Article <<http://ci.nii.ac.jp>> <http://tsigeto.info/2018/readg/r180420.html> など参照
- CiNii Books <<http://ci.nii.ac.jp/books/>>
- Web of Science <<http://webofknowledge.com/wos>>(GakuNin でログインする) <http://tsigeto.info/2018/readg/r180427.html> など参照
- Google Scholar <<http://scholar.google.com>>

そのほか、図書館のホームページ <http://www.library.tohoku.ac.jp> から「データベース」タブを開いてみるとよい。

最近では各出版社の電子ジャーナル、電子ブックや大学などの「機関リポジトリ」(repository) の整備が急速に進み、全文をオンラインで読んだり検索したりできる文献が増えてきている。その多くは有料であるが、東北大学で購読契約を結んでいるものは、学内のネットワークからのアクセスであれば読むことができる。学外からの利用については <http://www.library.tohoku.ac.jp/search/ejournal/remote.html> 参照

- 「学認」(GakuNin) に対応しているものは東北大 ID とパスワードでアクセスできる
- そうでない場合は、大学で提供する VPN 経由で読める場合がある (ネットワーク資源が限られているため、必要な時だけ使用)

4 資料・データを探す

研究対象による。自分の研究分野の入門書や、代表的な研究機関のサイトなどを調べるとよい。

5 研究者・研究機関を探す

大学などでは、所属する研究者 (教員・研究員・博士課程学生などをふくむ) の研究成果の情報を収集している。これを集積したデータベースが公開されており、そこから各研究者がおこなった調査の情報を得ることができる。

- 科学技術総合リンクセンター J-Global (科学技術振興機構) <<http://jglobal.jst.go.jp>>
- Researchmap (国立情報学研究所) <<http://researchmap.jp>>

また、研究者が個人的にウェブサイトを開設していたり、SNS 等で情報発信していることも多い。

論文等について質問したい場合、著者本人に問い合わせてみるとよい。雑誌論文には著者所属やメールアドレスなどが書いてあることが多い。また上記の J-Global などでも連絡先を調べることができる。ただし、問い合わせの前に、公開されている情報をできる限り集めてから。

6 研究プロジェクトを探す

多くの調査研究は科学研究費補助金 (文部科学省または日本学術振興会) などの助成を受けておこなわれているので、その研究課題のデータベース中に調査の情報がかなりある。

- 科学研究費補助金データベース (国立情報学研究所) <<http://kaken.nii.ac.jp>>
- 日本の研究.com <<https://research-er.jp>>

7 雑誌・データベースを探す

各研究分野には、通常、その分野の中心となる学術雑誌がある。そうした雑誌については、新刊情報をチェックするとともに、過去にさかのぼって読んでおく。

雑誌がつくられる過程 (特に掲載する論文をどのように決めているか) に注意すること。

また、分野ごとにデータベースが作られていることも多い。

- 国立情報学研究所「学術研究データベース・リポジトリ」 <<http://dbr.nii.ac.jp>>

8 EndNote Web (文献整理ソフト) について

Web of Science 画面上部の「EndNote」から、メールアドレスを登録して使う。

- Web of Science でみつけた情報を保存できる
- CiNii などのデータベースからの情報も import できる
- いちど登録しておけば、学外からも使える

9 次回までの課題

今回は、データと資料をあつかいます。各自の研究で使っている (または使おうとしている) データや資料について、説明できるように準備しておいてください。

- それはどういう性質のものか
- どういう観点から分析できそうか
- 注意しなければならないことはなにか

報告用の資料を用意する場合は、Google Classroom の「ストリーム」にあげておいてください。